

平成26年11月11日

フロート式水上太陽光発電事業に対する プロジェクトファイナンスの組成について

株式会社武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）は平成26年10月31日、「川島太陽と自然のめぐみソーラーパーク合同会社」が実施するフロート式水上太陽光発電事業に対して、プロジェクトファイナンス（注1）を組成しましたのでお知らせします。

本事業は川島町土地改良区が、管理する貯水池にて太陽光発電事業を行う企業を公募したものであり、また約7.5MWの発電規模はフロート式水上太陽光発電事業において世界最大規模（注2）となります。

当行では、今後も再生可能エネルギー普及への取組みに対し資金調達面からの支援などを通じて、地域経済の発展に貢献してまいります。

<プロジェクト概要>

事業主体	川島太陽と自然のめぐみソーラーパーク合同会社
事業参画者	株式会社スマートエナジー、株式会社スマートエナジーサービス 東上ガス株式会社、大東ガス株式会社
事業内容	フロート式水上太陽光発電事業
事業地	梅ノ木古凍貯水池（埼玉県比企郡川島町）
貯水池貸主	川島町土地改良区
発電規模	約7.5MW
売電先	東京電力他（予定）
契約締結日	平成26年10月31日
操業開始	平成27年10月（予定）

※注1 プロジェクトファイナンスとは、プロジェクト専用の特別目的会社（SPC）を設立し、当該プロジェクトから生み出されるキャッシュフローに着目した融資手法です。

※注2 フロート式水上太陽光発電事業において
（平成26年11月11日時点 新聞報道等により株式会社ぶぎん地域経済研究所調べ）

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 沼尻
TEL (048) 641-6111

